

地盤工学会関東支部  
液状化に係わる被害のメカニズムと名称を考える委員会  
2021年度 第6回委員会 議事録

【開催日時、場所、出席】

日時	2021年5月10日(月) 14:00~16:00					形式	Zoomミーティング	
委員長	吉田 望	○	幹事	石川 敬祐	×	幹事	平松 登史樹	○
顧問	石原 研而	×		沢津橋 雅裕	○		菊本 統	×
	加藤 一紀	×		安達 夏紀	○		原田 健二	○
	石川 明	○		清田 隆	△		飛田 善雄	×
	笹岡 里衣	○		三上 武子	○		澤田 純男	×
	大矢 陽介	○		安田 進	○		加藤 謙吾	○
オブザーバー	青柳 悠大	○						

【配布資料】

資料 2021-6-1 : 2021年度第6回委員会 議事次第

資料 2021-6-2 : 2021年度第5回委員会 議事録

資料 2021-6-3 : 【話題提供】安達夏紀委員

資料 2021-6-4 : 吉田委員長「流動に関して」

資料 2021-6-5 : 収集した用語のまとめ方について

【議事内容】

1. 前回議事録の確認

前回の議事録が承認された。

2. 話題提供に関する主だった質疑・説明

○堆積年代に関してどのように扱っているか

→建築基礎の指針からは年代に関する事項が省かれており、特に考察は行っていない。

○近隣ボーリング情報について、距離にもよるがある程度のバラツキはあるもの。

○「完全液状化」はもっとひずみの大きい範囲で完全に液体状になった状態に使われることが多い。

○応力経路先端部のズレについて粘着力以外に以下の要素がある

・供試体の自重

・ロードセルのドリフト

・ロッドの自重

○地下水位以下で  $V_p$  が低いことについて

流れてきた地下水の可能性があり、地盤の傾きについても注意が必要

### 3. 委員会活動報告のまとめ方について

目次案が提示された。

最終的な成果の形式について、書籍の販売や講習会、シンポジウムの開催がある。

→シンポジウムの開催は難しそう

→販売するようなものを作るのであれば、それぞれが分担して執筆するのではなく原案を作つてディスカッションを行うような形にした方がよい

委員長・幹事で具体的な内容を詰めておく。

### 4. 今後の活動について（活動期間の延長）

現在の活動期限は 2022 年 3 月末であり、延長の場合 2021 年 12 月には書類の提出が必要。

今後の作業量を考えると間に合いそうにないため、活動期間を 1 年延長する方針となった。

### 5. その他

・委員会資料の共有サイト

<https://mypocket.ntt.com/mypocket/login/>

ID: JGS\_Liquefaction Pass: 2019ekijouka

・Zoom の録画をアップロードします。

### 6. 次回開催日の決定

7 月下旬～8 月上旬で調整する。